

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/01/09

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.94	0.25
JPY/THB	0.2422	0.0024
USD/JPY	144.23	-0.40
EUR/THB	38.26	0.30
EUR/USD	1.0950	0.0007
USD/CNH	7.163	0.000
SGD/THB	26.31	0.21
AUD/THB	23.48	0.19
USD/INR	83.14	-0.03
USD Index	102.21	-0.20

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.458	-0.035
10Y (THB)	2.783	-0.006
5Y (USD)	3.987	-0.019
10Y (USD)	4.031	-0.015

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,033.5	-16.3
WTI (Oil)	70.77	-3.04
Copper	8,448.0	-15.0

Stock

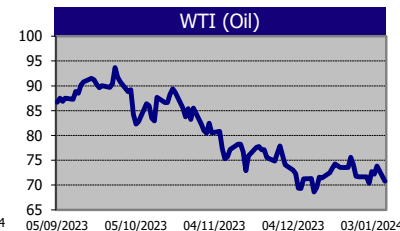
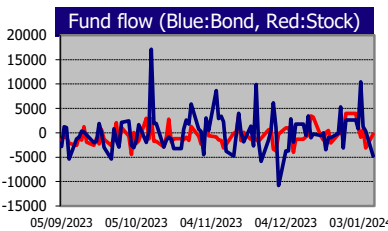
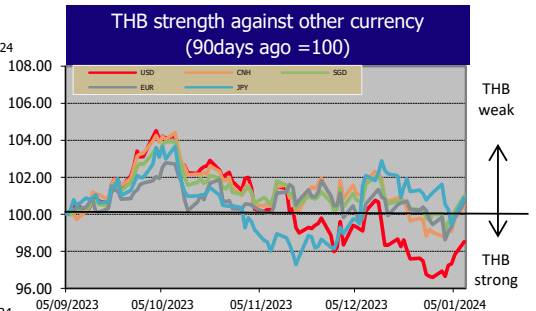
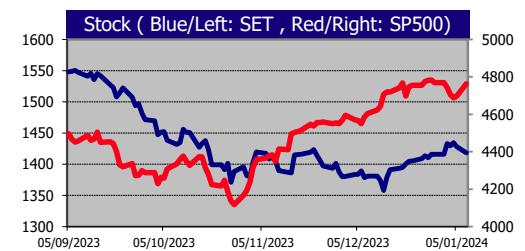
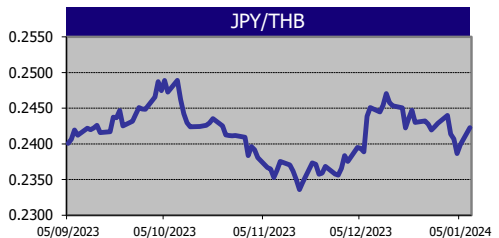
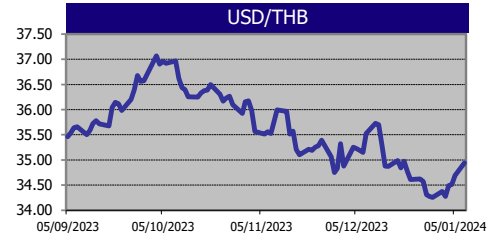
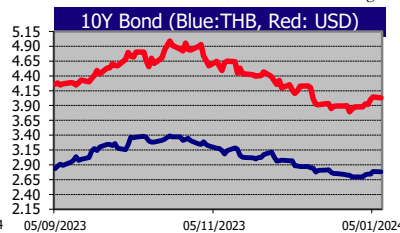
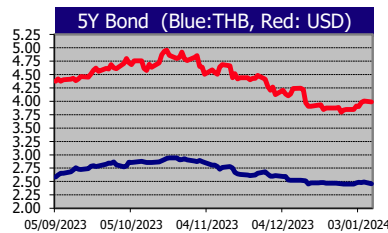
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,418.45	-9.51
NIKKEI (JP)	33,377.42	0.00
DOW (US)	37,683.01	216.90
S&P500 (US)	4,763.54	66.30
SHCOMP (CN)	2,887.54	-41.65
DAX(GER)	16,716.47	122.26

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(271)	2825.4
Bond net flow	(4,791)	-5146.3

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは上昇。34パーツ台後半で取引を開始。朝方、セーター・タイ首相から「タイ中銀に対する利下げ検討要請」とのヘッドラインにパーツは売り優勢の地合いとなり、ドルパーツは35パーツ台前半まで上昇。以降、しばらく同水準での推移が続いたものの、海外時間、米12月NY連銀1年先期待インフレが前回から大きく下げことが確認され、米金利が低下する中でドルパーツも34パーツ台後半まで戻し、そのまま34.94レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落。144円台後半で取引を開始すると、東京休日となる中、軟調なアジア株を背景に上値の重い推移となり、144円台半ばから前半にかけての値動きが継続。海外時間、米国のインフレに係る指標の結果を受けて一時143円台後半まで下落する場面を見せるも、後半にかけては買い戻しが入り、144円台を回復。結局144.23レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

セーター首相は昨日、タイ中銀による利下げの可能性について言及した。先週水曜日(1月3日)にも議会における演説で今後の金融政策について「経済動向、金融情勢の逼迫、政府の追加的な経済支援策に沿ったものとなるべき」と発言していたが、より踏み込んだ発言が確認された格好だ。昨年11月のタイ中銀(BOT)による金融政策委員会(MPC)では、8会合続いた利上げがストップし、声明文においても想定より緩やかな輸出・観光セクターの回復に言及した上で、経済成長見込み・物価見通しを引き下げる等、ハト派なニュアンスが示されていた。かかる中、セーター首相が懸念する更なる追加利上げの可能性は考え難いところであろうが、従来のBOTのスタンスに鑑みれば、米国に先んじて首相の望み通り早期の利下げに着手する可能性も低いと考えている。

昨日、東京休日でアジア時間の流動性が薄かったこともあってか、上記首相の発言にドルパーツ相場は大きな反応を見せた。デジタル通貨給付をはじめ、経済テコ入れ、財政懸念の狭間で難しい舵取りを要求されている政権の動向には留意する必要があるだろう。中長期的な観点ではドルパーツ相場は米国の金融政策に沿って緩やかに下落していくと見ているが、政権の動向が相場に与える影響もリスクシナリオとして考慮した上で2024年のパーツ相場の動向を見ていきたい。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.